

迷うじゃないか!

世の中は面白いもので、^{例えば今}自分の手にした本には「何事にも力を出し切る」と書いてある。
 しかし、隣にある本には「力を抜いて生きましょ」と書いてある。全く正反対のことが人生の手本や学びとなる本に書かれてあるから驚きます。
 他にも例を上げてみると

頑張るなさい ↔ 楽みなさい
 努力がすべて

何事も受け入れ「yes」で... ↔ 断って楽になろう
 自分を変える ↔ 自分らしく...
流れにまかせて...

思いが強ければ夢は実現する ↔ 思いを捨てる
 人のために生きる ↔ 自分のために生きる
 日々感動 ↔ 淡々と生きる 寧々と

いろいろあるものです。

どちらが正しいとかはないようですが、その人の出逢うタイミングによって受取り方が変わるのでしょう。人の意見や説教も実はそんなもんなんです。

ゆえに時として迷ってしまうこともあります。

そんなもんだと知っているだけで、少し楽に生きていけようですね ☺

そこで 正反対のことを上手く組み合わせたお話をご紹介しましょう

おじいさん だより

ありがとうございませう



2014年9月

読んでいただきありがとうございます

ソニックジャパン 金沢支店 支店長
 (社)生命保険
 ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)
 本部副会長 石川県協会会長

鳥越介順
 (とりごえ かいじゅん)

人生前半は求め 後半は執着を捨てる生き方

私たちの人生は出発点と折返し点があるようです。(マラソンのように)

人生が80才とすると40才が折り返し。

前半は求める心が強いと追い風になり、後半は折り返すので前半と風向きが逆になる。逆に執着を捨てる心が追い風になるようです。「あーあ若い頃と同じように頑張れないうな。」と執着を捨てたり。

親や配偶者や友人との別れ、退職、体力の低下など人生の決別の連続です。それに対していかに執着をしないかということで自分を作っていくとよいでしょう。

そうすることで追い風に乗りやすくなるようです。

娘が帰ってくると...

今年の夏休みの一番の楽しみは東京の大学に行ってきた娘が春以降久しぶりに家に帰ってくるに当たった。子ども2人とも東京に行きまわし妻との2人暮らしの我家の冷蔵庫も久しぶりにいっぱい!!

洗濯物や茶碗洗いが増えて妻が元気にニコニコ「幸せだわ」と喜んでおかげで私もご馳走にありがたかったです。☺ そんな娘は

胃ぶくろを掴む!

外交的な性格なので家に帰るときにも友達と遊ぶと優先で家でご飯を食べることは少ないのだからと思っていたが...びっくり!! 一緒に夕食をしてくれる機会が多かった。

娘が言うには家のごはんは美味しいからと、いろいろとお母さんにリクエストもしている。妻はニコニコと言

「子どもの胃ぶくろを掴んでおくヒスゴイでしょ!」

あっぱれ!! である。

そんな私もしっかりと胃ぶくろを掴まれているようですw